

## 動物用医薬品副作用症例報告 (平成17年2月分)

薬事法第77条4の2に基づく動物用医薬品副作用症例報告を次のとおり掲載する。

医薬品の名称 (製造(輸入)業者名)	副作用発現動物					副作用等発現の概要及び転帰						
	種類	性	年齢等	投与前の健康状態・疾患等	関連医薬品の投与歴等	投与量・投与方法	投与年月日	併用薬	副作用発現年月日 (投与後時間)	副作用等の種類	講じた処置	転帰
リュウコゲン (猫白血病(アジュバント加)ワクチン(組換え型))	猫雑種	雄	8歳	健康	/	1ml, 皮下注射	平成16年 12月13日	/	平成17年 2月25日	線維肉腫 当該ワクチン2回注射後70日目に発症。2カ月後に切除したものの、5カ月後に再発し、断脚。	治療	治療中
ビルバックジャパン(株) 製造番号：0M4H	<p>《企業の意見及び対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当獣医師：意見なし。</li> <li>・企業：ワクチン接種部位に線維肉腫が発生していることから、ワクチン関連性の線維肉腫と考えられる。使用上の注意に「猫において、不活化ワクチンを同一部位へ反復注射することにより、線維肉腫等の肉腫の発症率が高まるとの報告があるのでワクチン注射歴のある部位への注射は避けること。」と記載して注意喚起しているところであるが、今後とも情報の収集に努める。</li> <li>・対応：企業の意見参照</li> </ul>											

家畜衛生週報 (No. 2918) より